

新入荷商品のご紹介



夏や単衣の時期のはおりものとして重宝する紋紗織のコート地。柄が透けるので、何とも涼しい雰囲気演出できます。お持ちでない方は一枚いかがですか？

紋紗 ちりよけコート

168000円



168000円

渡豊工房 サクランボの実染紬



スタイリッシュな見た目が特徴の印伝財布。使い勝手はもちろんのこと、着物などとも相性のいいデザインは秀逸。男性のプレゼントとしても最適です。

上原勇七 印伝 財布

14040円



特集でも紹介したサクランボの実で染めた紬(上)とお召し(下)です。天然染料のやさしさと糸にもこだわったものづくりは着ることに味わいを増していきます。お召しは有松絞も併用した逸品。

渡豊工房 サクランボの実染お召

324000円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2016年9月号

ごあいさつ



お盆をすぎると夏の終わりを感じなんとなく寂しい気分になりますが、まだまだ残暑が厳しくそんなことも言ってもらえない気候ですね。9月は暦の上では単衣のシーズンに入ります。とはいえまだまだ暑い日がつづくので、長じゅばんなどは、夏用のものを使い暑さ対策をしたうえで着ると快適に過ごすことができます。

特集 さくらんぼの実で染めた着物



少し前のことですが、6月末に山形県の『渡豊工房(わたとよこうぼう)』さんでサクランボの実で染める『サクランボの実染め』の体験&研修でこの地を訪れました。果実の小枝等で染める染色は、たまに聞くことがあるのですが、実で染めるというのは知る限りあまり聞いたことがありません。渡豊工房さんのサクランボ染めに使うサクランボは、上の写真のような色鮮やかな赤が特徴の『佐藤錦』『紅秀峰』といった品種ではなく、アメリカンチェリー系の『サミット』『紅さやか』『ジャポレー』『フジヤマ』の4種類がこちらの農園から染め物用として納められるそうです。

大量のサクランボの実を手や足でつぶし、染料を作っていく手間は、今回自分たちで実際体験してみると本当に大変なことがよくわかります。

左の写真はサクランボの実で染めた糸で、この後、1年ぐらい色を安定させるために寝かせておくというから、気の遠くなる作業ですね。今の時代、スピード感が求められる世の中ですが、着物のものづくりにはまだまだ昔ながらのスローなものづくりが存在しています。まだまだ残っている今のうちに皆さんに少しでも伝えていきたいです。



twitter、facebook、アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちやフェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539